

日本共産党都議会議員

とや英津子のニュースレター TOYA ETSUKO Newsletter



文教委員会理事

オリンピック・パラリンピック特別委員

事務所 練馬区桜台1-6-11 TEL:03-6324-8060

住宅地の
道路陥没

外環道トンネルは中止を

道路が陥没した調布市の事故現場

(10月18日)



10月18日、外環道のトンネル工事が直下で行われていた調布市の私道が、突然陥没し大問題になっています。この場所は、トンネルを掘るシールドマシンが9月14日に通過し、そのころから数々の異常が発生していました。シールドが通過した外環道の全域で徹底した調査が不可欠です。

外環道は、いま練馬区の関越自動車道の大泉ジャンクションから世田谷の東名高速道路に至る約16キロを、用地買収や地権者の同意のいらない「大深度地下」方式で工事が行われています。

地盤沈下や地下水、河川の枯渇などが心配されます。安全が担保されない限り大深度の利用を認可すべきではありません。

原因究明と工事中止を申し入れ 日本共産党都議団

陥没地域周辺は、9月に地下50メートルを直径16メートルのシールドマシンが通過した際、騒音や振動、コンクリートの隆起や塀の亀裂などが発生し、住民が抗議し調査を求めていた場所です。

ところが異常続発にも関わらず、工事は強行されてきました。

そして、今回の事故が起こりました。

事故の発生後直ちに、私たちは東京都に原因究明や工事の中止などの申し入れを行いました。（申し入れ項目は、裏面に記載）

申し入れに対し、武市敬副知事は「国及びNEXCO東日本に原因究明を求める」と答えました。



都に申し入れるとや英津子都議（右端）ら
10月19日

外環道トンネル工事の真上で起こった陥没事故についての申し入れ

[要望項目]

日本共産党都議団は東京都に対し、今回の事故をうけてただちに以下の点にとりくむことを求めます。

- 1、事故原因が解明され、安全にかかわる調査が終わるまではシールドマシンを停止させるよう求める。
- 2、今回の事故で避難を余儀なくされるなど、影響をうけている全ての住民に対し、都として十分な生活保障を行うとともに、国とNEXCO東日本に対して早急に補償するよう求める。
- 3、今回の陥没事故の徹底した原因究明とともに、過去にシールドマシンが通過した箇所も含め、外環道工事の影響について徹底した調査を行うよう、国およびNEXCO東日本に強く求めること。
- 4、東京外環トンネル施工等検討委員会の事故の検討結果を裏付ける資料や検討過程を公開すること。また、検討委員会以外の専門家による議論の場を早急に設置すること。
- 5、住民の命を脅かし、莫大な経費を浪費する外環道計画は即刻中止するよう求める。

外環道中止を求める

都議会委で
とや都議が

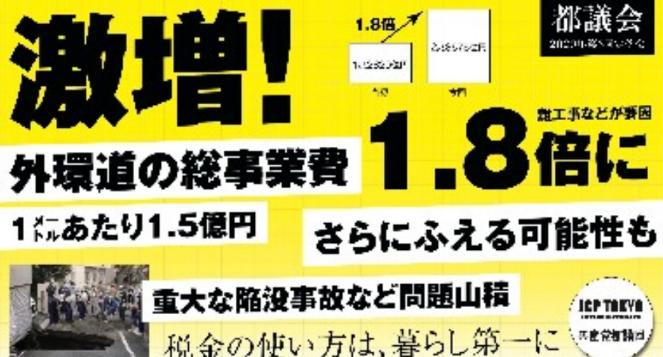
10月23日、各会計決算特別委員会で外環道のトンネル建設の中止を主張しました。調布市での道路陥没は、昨年住民が振動被害を訴え、議会でも繰り返し指摘したのに、受け止めない中で起きたものです。

練馬区に建設を計画している青梅街道インターチェンジについても、地元町会が反対を表明し、用地買収率が今だに3割弱にとどまっています。

都民の声を無視してきた東京都のやり方を改め、建設は中止すべきです。



外環の総工費2兆3575億円へ



環境破壊や費用対効果をめぐり住民の反対の多い外環道で、総事業費の激増が公表されました。根本的に見直し、税金をコロナ対策などにまわすべきです。

練馬の外環道の工事現場でも異常事態が発生、異常を感じたらご相談下さい

外環工事は、今回の現場の反対側の練馬区内でも急ピッチで進められています。大泉インター周辺や、三原台、石神井町などでは、異常な事態が多発しています。

白子川にシールドの酸欠空気が漏れ出す

昨年の8月から9月にかけて、大泉ジャンクション周辺の白子川でシールド工事の酸欠空気が漏れ出す異常が

発生し問題になりました。

外環工事の周辺で井戸水が枯れる

最近では、石神井町の住民から井戸水が枯れて困っているなどの異常が寄せられ、調査や対応を求めています。

塀や道路のひび割れ、振動など異常を感じたらお気軽にご連絡ください。

●連絡先 とや英津子事務所 6324-8060 ●ご意見・ご要望をお寄せください。